

里山倶楽部 第 39 回幹事会議事録

日時 2015 年 2 月 10 日 (火)

場所 住民交流センター事務室

出席 9 名

報告

1. 国からの交付金平成 26 年度報告が終わった。

林業協会から実績点検に来るので、当日には機材等をまとめて写真が撮れるようにすること。

今年度の経理等の反省として次年度には、労務費は 1 時間単位で報告すること。報告には、その日に何時間活動したかだけで良いが、倶楽部内での報告には今まで通り何時から何時としていただきたい。今年度は労務費が予算の大部分 (110 万以上) を占めた。経理報告の反省点としては、労務費を主として残を消耗品などで処理すると報告が簡単になる。

来年度の国からの交付金は総額 30 億円から 25 億円になる予定で、飲食料費はなくなるので注意。

討議と決定

1. 最上から里山倶楽部活動 1-3 月の計画書が配布されて、それぞれの進捗状況、これからの活動予定を議論した。

2. 防獣ネット配置図 (案) を配布、了承。

バス通からの見栄えに配慮して、バス通南斜面一段目から真中広場にかけての全域を囲い込みシカ除けをしてダニが侵入しないようにする。また藤田竹林の下をイノシシ除けの金属フェンスで囲み、今年はここでタケノコ狩りをするこ

とを了承した。里山のメインの竹林はイノシシがタケノコを食べて荒らしてくれる方が竹がはびこらず良いのです。

3. イオン環境財団からの助成金による植樹祭実行のためのスケジュール案を了承した。春の植樹祭は交流センター西の土手を予定する。さっそくにでも樹木苗の見積もりを取る。ポスター・チラシも手配する。

4. 国からの交付金による空間利用タイプのスケジュール案から 10 案を交付金対象のイベントとして実施することに決定。以上の中で、今年度は植樹・樹木札掛けを適宜実施する。

「巣箱作りとバードウォッチング」は中止。バードウォッチングは「ビオトープづくりに向けて」の活動などに入れ込むことも可能である。

4 月 桜花見会

5 月 ミツバツツジ花見と調査

6 月 ウノハナ花見会

11 月 紅葉狩り の 4 つは、交付金対象イベント以外として開催する。

(翌日、最上から 1～4 について修正された予定表などが配布された)

5. 今月中の予定への取組

2 月 16 日 (月) 比叡平小学校 3 年生 26 人が「ほだ木への植菌実習」

9:25 から小学校校庭で

代表から「里山倶楽部について」

副代表から「キノコの育て方」

実技の補助(ドリルによる穴あけなど)に 5 人は参加する。

前日に準備作業

2 月 18・19 日 (水・木) 午前 6 年生 21 人が「遊具づくり」に里山を訪問する。

9時半にエゴノキ広場集合

真中広場でソヨゴの伐採木で長イスづくりとロープワークを予定する。

その準備に、里山倶楽部幹事は17日（火）午後1：30真中広場に集合。

班分けや手順など、できれば教員の参加のもとで考える。

次回幹事会は、2月24日（火）交流センター事務室